

秦野市ごみ減量通信

創刊号

平成 18 年 5 月 18 日発行

発行 秦野市 環境衛生課 (秦野市桜町 1-3-2) Tel: 0463-82-9619 (直通) Fax: 0463-82-6793
E-mail: k-eisei@city.hadano.kanagawa.jp

『秦野市ごみ減量通信』を創刊しました！

市民の皆さんに、秦野市のごみの現状を知ってもらい、ごみ減量の大切さを理解していただくため、『秦野市ごみ減量通信』を創刊しました。

創刊号では、『秦野市のごみの現状』と『すぐに取り組み始める可燃ごみの減量方法』についてお知らせします。

秦野市のごみの現状、皆さんご存知ですか？

ごみ処理経費

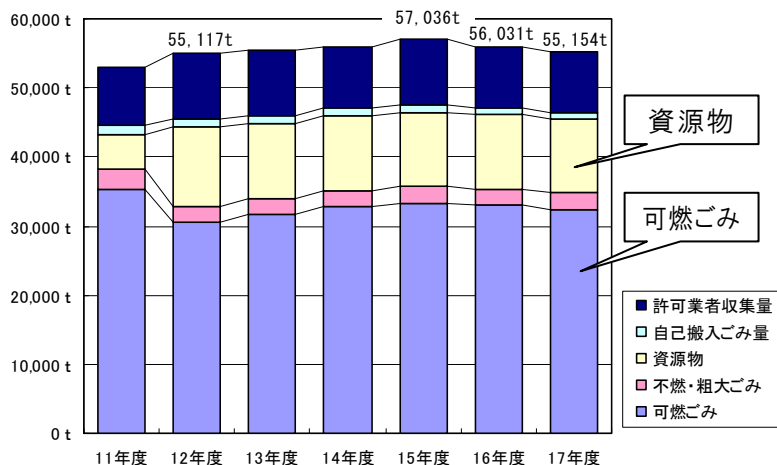
年 度	年 間	一人当たり
14年度	19億4769万円	11,564円
15年度	19億5038万円	11,575円
16年度	18億2937万円	10,854円

皆さんの家庭から出されるごみの処理に、年間『18億3千万円』の税金が使われています。

年度別ごみの排出量



2年連続で、ごみの総排出量が減少しました！



一人1日当たりの可燃ごみの量

年 度	可燃ごみ量
10年度	642g
12年度	496g
16年度	536g
17年度	528g

秦野市ごみ処理基本計画では、平成18年度の一人1日当たりの可燃ごみの量を 485g (平成17年度比8%減) とすることを目標にしています。

年 度	可燃ごみ	資源物
11年度	35,249 t	4,922 t
12年度	30,460 t	11,405 t
13年度	31,665 t	11,002 t
14年度	32,816 t	10,980 t
15年度	33,304 t	10,798 t
16年度	32,979 t	10,784 t
17年度	32,419 t	10,698 t

皆さんの努力のおかげで、2年連続でごみの排出量は減少しましたが、現在の分別収集が始まった直後の平成12年度と比較すると、可燃ごみの量が約2,000t増加し、資源物の量が約700t減少しています。

すぐに取り組める『可燃ごみ』の減量方法

出来ることから始めましょう！
小さな努力が減量の第1歩です！

平成12年度と比較して、可燃ごみが増加し、資源物が減少している理由として、可燃ごみの中に資源物が混じっていることが考えられます。

もう一度、分別ルールを見直して、ごみと資源の分別を徹底しましょう！

★ **包装紙・チラシ・紙袋・封筒・はがきは資源物です。**




丸めてごみ箱に捨てないで、『雑誌類』として出しましょう。(小さい紙は、雑誌の間にはさんでください)

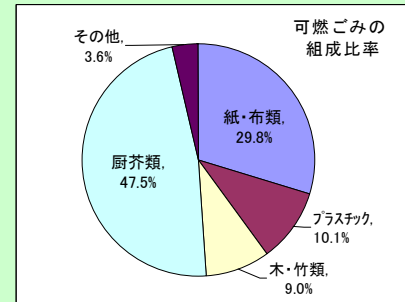
※ 紙以外の素材(紙袋の紙以外の取っ手や窓付き封筒のビニールなど)は混ぜないでください。

※ はがきなどに書かれた名前や住所は、油性ペンで塗りつぶす、切り取るなど捨て方に工夫をしてください。

★ **容器包装プラスチックを分別する。**

食品やお菓子の袋など  (プラマーク) のついたものは、汚れを落として、『ペットボトル以外の容器包装プラスチック』に分別してください。

生ごみを減らそう！



可燃ごみの約半分は生ごみ(厨芥類)、生ごみの80%以上は水分です。

水切りを徹底することで、可燃ごみの量を減らすことができます。



お知らせ

平成18年度から変更になりました。



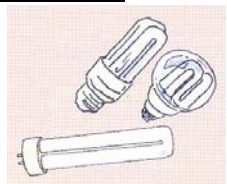
『容器包装プラスチック』を隔週水曜日に収集します

その月の収集日が第1・3水曜日の場合、第5水曜日も収集します。なお、水曜日に『資源物』の収集日がある南C・南D・鶴巻A・鶴巻B地区と、『不燃ごみ』と『蛍光灯など』の収集日がある西E・北・本町A・本町B地区は、『資源物』などの収集日が月によりずれる場合がありますので、分別カレンダーでご確認ください。

電球型蛍光灯やコンパクト型蛍光灯は『蛍光灯など』に分別してください

直管型・丸輪型蛍光灯に加えて、電球型蛍光灯やコンパクト型蛍光灯も『蛍光灯など』として収集します。

※ 電球やグローランプは、今までどおり『不燃ごみ』に分別してください。



『粗大ごみ』の自己搬入が、日曜日・祝日もできます

清掃事業所への『粗大ごみ』の自己搬入が、日曜日・祝日(年末年始は除く)もできるようになりました。

また、『100kg以下の可燃ごみ・不燃ごみ』・『古紙類』・『衣類』・『ペットボトル以外の容器包装プラスチック』についても、日曜日・祝日(年末年始は除く)に自己搬入できるようになりました。

※ 『100kgを超える可燃ごみ・不燃ごみ』や『事業系一般廃棄物』の搬入は、従来どおり月～土曜日となります。